



病院長就任のご挨拶



東札幌病院 病院長
日下部 俊朗

このたび、2024年4月1日より医療法人東札幌病院の病院長を拝命いたしました。当院の運営を預かる重責に身が引きしまる思いです。病院長就任にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

私は北海道芦別市の出身で、札幌医科大学内科学第四講座(現 腫瘍内科学・血液内科学講座)に入局し、主に消化器内科・腫瘍内科を専門として道内の医療機関で従事してまいりました。今から13年前の2011年4月から東札幌病院に赴任となり、石谷理事長のご指導のもと、がん医療・緩和ケアにかかわってまいりました。

東札幌病院は41年前の1983年4月に石谷邦彦理事長により開設されました。開院当初から「がん」の医療にこだわり、2009年に「悪性腫瘍に係る専門病院」の認可を受けるとともに、日本における「がん緩和ケア」の先進的な施設として運営されています。現在では診療19科目を標榜し、地域住民の皆さまのかけつけ医療機関としての役割をはじめとして、札幌市内や道内外各地の医療機関から多くの患者さんをご紹介いただいております。

また、当院は学術的な活動が盛んに行われていることも大きな特徴です。1988年に米国New YorkのCalvary Hospitalとの姉妹提携を結び、現在でも定期的な職員研修を続けています。1993年には米国HawaiiにてNew YorkのMemorial Sloan Kettering Cancer Center、Calvary Hospitalと当院の共同開催で「がん緩和ケアに関する国際会議」を開催しました。2014年7月には開院30周年を記念して“Sapporo Conference for Palliative and Supportive Care in Cancer (SCPSC)”を開催、2017年6月に第2回SCPSCを開催しています。2023年4月の第3回・第4回合同SCPSCでは22カ国から約1,000名の参加をいただきました。世界の医学や医療の発展とともにあることが、地域の皆さまへ最良の医療を提供することにつながるものと確信しています。

当院は開設以来「医療の本質はやさしさにある」を理念として掲げてまいりました。多くの患者さんに上質な医療を提供するとともに、地域の皆さまに信頼される医療機関となるべく、職員一同ベストを尽くしてまいり所存です。今後ともどうぞよろしくご挨拶申し上げます。

新任医師紹介

2024年4月に当院に着任した
3名の医師を紹介します。

放射線科 部長
坂田 耕一



堀先生の後任として、4月より着任しました放射線科の坂田です。

1983年に旭川医大を卒業し、東大放射線科に入局して、放射線治療医として働き始めました。1995年に札幌医大放射線科に移り、放射線治療医として働いてきました。この40年間（特に、最近10年間）で放射線治療技術は著しく発達し、大学では、強度変調放射線治療、定位照射といった高精度放射線治療を用いて、治癒を目的とした根治的な放射線治療が多数を占めるようになってきました。しかし、放射線治療は緩和医療でも有効であり、東札幌病院の診療では、様々な面でお役に立てると思います。

がん診療において緩和治療はとても重要ですが、緩和診療においては、東札幌病院のような高いレベルの施設は少なく、がん治療を行う医師にとり、東札幌病院はとても重要な施設であり、北海道のがん診療で重要な役割を担っていると思います。私自身も大学で診療していた時、東札幌病院には、本当にお世話になりました。

私の趣味は旅行で、日本各地の寺社を巡ったり、名所や博物館を観たりして、後でその時の写真を見て、思い出したりしています。また、日本ハムを応援していますが、中継をリアルタイムで見ると負けた場合にはストレスが溜まるので、録画しておき、勝った試合だけ、後で良いシーンを見るようにしています。

私は、豊平区美園で生まれてから18歳まで過ごし、また、現在まで28年間、白石に住んでいます。私の亡くなった父も東札幌病院に入院させていただき、照井先生にお世話になりました。私が生まれ育った地域の医療に重要な貢献をしていて、かつ、北海道のがん診療で重要な役割を担っている東札幌病院で働かせていただくことになり、光栄に思い、頑張りたいと思います。どうか、よろしくお願いいたします。

外科医長
前田 豪樹



みなさまこんにちは。この4月より着任いたしました乳腺外科の前田豪樹と申します。

生まれは東京、高校は千葉ですが、バース・掛布・岡田のバックスクリーン3連発の時には、甲子園球場の歓声が聞こえる距離に住んでいました。襟裳岬に憧れて北海道にやってきましたが、結局まだ行ったことはありません。2000年に札幌医科大学を卒業し、第一外科(現 消化器・総合、乳腺・内分泌外科)に入局しています。当時は医師国家試験の結果発表前から働き始めることが慣例で、最初に配属されたチームのボスが大村副院長でした(このたび20周年ぶりに直属の部下になりました)。その後は道内各地と大学病院を行き来していましたが、しばしお隣の駅にある北海道がんセンターに腰を落ち着けて勤務していました。前任地での守備範囲は、乳がんの診断・治療と医師主導臨床試験・治験でほぼすべてであり、がんに対する積極的な治療を行わず、という方針になったら院内の緩和ケアチームもしくは在宅の先生方にお任せしていました。この度せっかく特色ある緩和ケアを有する東札幌病院に赴任してまいりましたので、その部分についても学ばせていただき、吸収させていただけたらと思っております。

なおMy Favorite Thingsはうちのまりん(ねこ2歳)とのお風呂と週1のテニスと酒です。同好の士はぜひお声かけください。

まだ慣れない仕事でご迷惑をおかけしておりますが、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

血液内科
須釜 佑介



4月より着任しました須釜佑介と申します。生まれも育ちも札幌市です。2014年に札幌医科大学を卒業しています。

以前、2018年から2年間、東札幌病院で勤務させていただいておりました。その際には血液疾患、腫瘍、消化器疾患、緩和ケアなど多岐にわたる経験を積ませていただき、医師として一回り成長できた時期だったと思います。

その後は苫小牧王子総合病院、函館赤十字病院、札幌医科大学附属病院勤務を経まして、今回、東札幌病院に戻ってきました。着任して数日ですが皆様にはとても歓迎していただき、東札幌病院の温かさを感じるとともにとても感謝しています。

血液内科が専門ですが、猝にとらわれることなく、困っている患者さんの手助けができるよう日々精進してまいります。皆様のお力を借りつつ、各々の患者さんにとって最善の医療を提供したいと考えております。お力添えの程よろしくお願いたします。院内で見かけたら挨拶していただけると嬉しいです。

ニュース

第5回がん緩和ケアに関する国際会議(SCPSC) Webサイト公開のお知らせ

がん緩和ケアに関する国際研究学会からのお知らせは、東札幌病院ホームページ(札幌カンファレンス)よりご参照ください。なお、昨年度にニュースレターを発刊しました。SCPSC Webサイトよりご覧いただけますので、どうぞご参照ください。



東札幌病院ホームページリニューアルのお知らせ

2024年4月1日より東札幌病院ホームページをリニューアルいたしました。「利用者にとってできるだけ観やすく!」をコンセプトに作成したつもりですが、ご意見等ありましたら(メール:info@hsh.or.jpまで)お願いいたします。



石谷理事長の スキー 讃歌

その31

第一回石谷杯

— 第1報 —

(札幌医科大学スキー部アルペンスキーOB・OGカップ)

札幌医科大学スキー部の後輩達の温情で2024年1月21日(日)、アルペンスキー競技大会;第一回石谷杯がニセコ・モイワスキーリゾートで開催された。現役部員とOB・OG他によるジャイアントスラロームのタイムレースである(コース:B線、標高差200m、22旗門)。総勢30人余の参加であった。

最近、OB会会長の、ノルディックスキー出身の塚本勝先生の尽力で、OB・OGも楽しみながら現役部員の支援を目的とする活動が盛んになっている(金銭面の支援が主であり、“OBは口を出さずに金を出す”が鉄則であるが必ずしもそうではない)。次週1月28日(日)はノルディックスキーのOB・OG戦塚本杯が予定されていた。

2024年、札幌医科大学スキー部は創部65年を迎えている。その歴史の中で、2009年5月23日(土)にホテルオークラ札幌(今は更地になっている)で創立50周年記念祝賀会が70名の参加を得て開催された。その時の式次第は右記のとおりである。



司会	小山健司先生
1. OB会会長挨拶	塚本勝先生
2. 来賓挨拶	端和夫様、佐々木禎一様、 新谷暁生様
コーチの紹介	江川淳様、久慈修様
3. 乾杯	OB会前会長 石谷邦彦先生
4. 招待講演	「スキー部の50周年を振り返って」 司会と講演 後町浩二先生 講演 元新潟大学医学部 スキー部主将 田沢賢次先生
5. 閉会挨拶	スキー部顧問 和田卓郎先生

札幌医科大学スキー部は創部65年間を経過し、所属した部員は400名を超えている。そのうち現在のOB会員は187名である。それらの若人達の歴史は札幌医科大学の発展と共にあり、世界と地域に貢献する多くの傑物を輩出している。今年2024年の現役部員はアルペン・ノルディック合わせて総勢48名にもなるという。

毎年4月末、ニセコモイワスキーリゾートで新谷暁生さんの民宿「ウッドベッカーズ」(ニセコ町のシンボルの鳥・キツツキ=アカゲラに因んでいる)に宿泊し、新入部員歓迎の春合宿が行われている。例年私はその終了時にニセコ町のジンギスカン屋で打ち上げの席を設けていた。しかし、2023年は人数が多過ぎ

て、結局日を改めた5月13日(土)に札幌のアサヒビール園で催し、嬉しい悲鳴を上げた。人数が多いのに加え、ニセコより値段が高かったのである。メンバーが多いとそのチームの実力は向上するのが常と自分を納得させている。

その後、私の都合に合わせて8月3日(木)に、現役部員も交えたOB会がススキノのお洒落な居酒屋で開催された。迷路のようなビルの中を部員に案内され、若かりし頃、この付近を彷徨った自分を思い出していた。会はそれぞれの自己紹介から始まりスキー談義で花が咲いた。突然、塚本会長からアルペンスキーOB・OGと現役部員のタイムレース“石谷杯”開催の提案があり、参加者一同は歓声を上げた。会は盛り上がり、具体的な話はさておきOB・OG達はアルコールの酔いで自慢話に終始した。現役部員は辟易したことであろう。最近の部員の多くはアルコールに親しんでいないようである。一般に大学のクラブ活動はそれらを戒めていると聞いている。私が主将の頃はラーメンの丼で日本酒を飲むような風景があった(もう時効である)。二次会もお洒落なバーに案内されたが意外と安価であり驚いた。宴会担当の部員がインターネットで調べてと想像しているが真相は聞いていない。結局、午後12時近くに散会となった。

その後実務担当の矢嶋知己先生からの連絡がなく、とりあえず大会コースの設定が必要と思いニセコモイワスキーリゾートの安全を担当する新谷さんをお願いし、支配人の吉村さん、コースの管理をするスキースクール校長の古川さんの了承を得ておいた。またアルペンスキー・ポールセットはスキー部コーチの東さんに依頼した。

11月27日(月)、矢嶋先生の音頭で石谷杯の準備会が札幌パークホテルで開催された。出席者は矢嶋知己・彰子先生夫妻、水野諭先生、東コーチ、部長のアルペン4年 鶴田真唯君、5年 内藤悠太君、3年 秋葉瑠果君、2年 嶋田秀斗君、そして私と塚本会長

である。矢嶋先生の司会で開催要項、寄付集めなどおおよそが決まり、その後スキー談義に花が咲いた。しかし、その話の中で聞いた今の医学生の実験と研修に追われる苦労は何とも可哀想に思われた。さらにスキーシーズンと医学部の試験シーズンは冬に重なり、勉強道具持参で合宿、大会に臨む日々であるという。私達の頃は追試験などで勘弁してもらっていた。「どうせ君達は一生勉強だからな」と話の解る教授達と時代であった。当然ながら隔世の感である。

12月16日(土)、石谷杯実務者会議が開催された。実務者とは現在も競技スキーに縁の深いOBを意味している。札幌医大36期 小池英明先生、42期 矢嶋知己先生、45期 水野諭先生、そして最近まで国体に出場していた48期 小山健司先生の面々である(著者の石谷は16期で現役の競技スキーヤーでもある)。開催要項、寄付集め、現役部員への賞品などが議論された。その席で、札幌医科大学スキー部はもとより多くのスキーヤー、山男達がお世話になっているニセコモイワ山麓の民宿「ウッドペッカーズ」が開業50周年を迎えることから、そのオーナー新谷暁生さんのお祝いも兼ねることになった。

12月17日(日)、水野諭先生から案内状がOB会会員に送付された。現役部員には主将の鶴田真唯君が連絡。部員の上下関係は昔と変わらず、かなりの権威があるようである。

(次号に続く)



ニセコモイワスキーリゾートは北海道
虻田郡ニセコ町にあるスキー場。
〒048-1511
北海道虻田郡ニセコ町ニセコ448
北緯42度50分54秒
東経140度37分47秒



外来医師スケジュール

★救急対応

(2024年4月15日～)

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	1診 (内科初診)	村上★	日下部★	村上★	村上★	佐藤(健)／小野	交代制★ (内科初診／再診)
	2診	石谷 (一般内科)	石谷 (一般内科)	石谷 (一般内科)	三原 (一般／腫瘍内科)	三原 (一般／腫瘍内科)	出張医 (内科初診／再診)
	3診 (消化器内科)	日下部	伊藤	渡邊	長岡	日下部	
	4診 (循環器内科)	高木	古谷	高木	秋津	秋津	
	5診	梅田 (呼吸器内科)	奇数週 出張医 (整形外科)	出張医 (呼吸器内科)	佐藤(健) (一般／血液内科)	伊達 (呼吸器内科)	
	6診 (一般外科)	信岡	信岡	久慈	信岡	久慈	交代制
	7診	久村 (心療内科)	前田 (乳腺・甲状腺外科)	前田 (乳腺・甲状腺外科)	大村 (乳腺・甲状腺外科)	照井 (一般／糖尿病内科)	
	8診(11:00～) (発熱者・必要時に対応)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
	9診			佐藤(昇) (病をよく識る外来)		(セカンドオピニオン外来)	
	放射線治療	坂田	坂田	坂田	坂田	坂田	
	内視鏡	安保	渡邊	佐賀	出張医	伊藤	交代制
	腹部エコー			三谷			
歯科・ 歯科口腔外科	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	交代制

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午後	1診(13:30～) (内科初診／再診)	三谷	出張医	出張医	出張医	三谷	
	2診	舘越／15:00～ 齊藤 (一般／緩和ケア内科)	佐藤(健) (一般／血液内科)	町野★ (一般／緩和ケア内科)	町野 (一般／緩和ケア内科)	齊藤 (一般／緩和ケア内科)	
	3診	佐賀★ (消化器内科)	渡邊★ (消化器内科)	小野 (一般／血液内科)	伊藤★ (消化器内科)	長岡★ (一般／消化器内科)	
	4診	秋津 (循環器内科)	偶数週 久野 (循環器内科)	照井 (一般／糖尿病内科)	高木 (循環器内科)	出張医 (脳神経内科)	
	5診		梅田 (呼吸器内科)	井須 (整形外科)	梅田 (呼吸器内科)		
	6診 (一般外科)	久慈★	久慈	久慈★	信岡／久慈★ (手術のため緊急対応のみ)	信岡	休診
	7診	里見 (一般外科／乳腺・甲状腺外科)	大村 (乳腺・甲状腺外科)	大村 (乳腺・甲状腺外科)	照井 (一般／糖尿病内科)	前田／第2週 九富 (乳腺・甲状腺外科)	
	8診						
	内視鏡室				頭頸部外科出張医		
	放射線治療	坂田／出張医	坂田／出張医		坂田／出張医	坂田／出張医	
	内視鏡	伊藤	佐賀／伊藤	長岡	出張医	佐賀	
	歯科・ 歯科口腔外科	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	水越／太子 大内／石谷	

※8診午前は発熱者・必要時に対応(当日予約のみ) 月～金曜日11:00～

※6診午後の外科外来は、手術等により診療時間が変更となる場合があります。

※外来受付時間 午前の外来 月～土曜日 11:30まで 午後の外来 月～金曜日 16:30まで

※土曜日は交代制となっております。詳細はお問い合わせください。

※緊急対応等に備え、内科医師1名は13:30から待機いたします。

※当院では、待ち時間短縮のために予約制を導入しております。予約外診療も
行っております。詳細は受付にお問い合わせください。

※病をよく識る外来(要予約) 水曜日9:00～12:00 担当医師:佐藤(昇)

※セカンドオピニオン外来(要予約) 金曜日9:00～12:00

※石谷外来 火曜日9:00～11:00

※放射線治療外来は、地下1階診察室です。



医療法人東札幌病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（一般病院2 3rdG: Ver.2.0）の認定を受けています。

■認定期間
2020年9月26日～2025年9月25日



日本医療機能評価機構
認定第 JC669 号

一般病院2 3rdG:Ver.2.0



●交通のご案内
地下鉄東西線「東札幌駅」より
徒歩5分

駐車場について

当院の駐車場はゲート式になっております。駐車場ご利用の方は、受付または事務室にて駐車券をご提示ください。ご利用料金は以下の通りです。

ご利用料金

外来受診・お見舞いなど、当院ご利用の方は、3時間無料です（以後30分50円）。

Higashi Sapporo Hospital

医療法人 東札幌病院

〒003-8585
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35
電話 011-812-2311 (代表)
FAX 011-823-9552
E-mail: info@hsh.or.jp
HP: <https://www.hsh.or.jp>

東札幌病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重致します。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名・検査結果、受ける処置やケアの内容等について十分な説明を受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援されます。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育をうけることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

東札幌病院を受診される皆様に御協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝え下さい。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問して下さい。
3. 治療やケアの方針を決めるときには、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加して下さい。
5. 院内では常識的な社会人として行動して下さいようお願いいたします。
6. 東札幌病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 東札幌病院では各階に提案箱を設置しております。ご意見やご要望がありましたらご遠慮なくご利用下さい。